別記第１号様式

八戸市寝たきり高齢者等介護者慰労金支給申請書
（３万円）

年　　月　　日

（あて先）八　戸　市　長

住　　所
申請者
（主介護者）氏　　名
生年月日
電話番号
（被介護者との続柄　　　　　　）

寝たきり高齢者等を下記のとおり介護していますので、八戸市寝たきり高齢者等介護者慰労金の支給を申請します。
なお、申請書の審査にあたり、被介護者の入院等の状況について居宅介護支援事業者等に確認を求めることに同意します。

被介護者	住　所	八戸市			
	氏　名			年齢	歳
	電　話		生年月日	明・大・昭　　年　　月　　日	

被介護者の状態区分	寝たきり・認知症 要介護認定者　　要支援１・２・要介護１・２・３・４・５
寝たきり・認知症になった時期	年　　月　　日 頃から
該当する期間	年　　月　　日 ～　　年　　月　　日
前回該当になった期間	年　　月　　日 ～　　年　　月　　日
入院の状況 （該当期間内において）	なし・あり 病院名　　年　月　日～　年　月　日入院 病院名　　年　月　日～　年　月　日入院 病院名　　年　月　日～　年　月　日入院
ショートステイの状況 （該当期間内において）	なし・あり 施設名　　年　月　日～　年　月　日入所 施設名　　年　月　日～　年　月　日入所 施設名　　年　月　日～　年　月　日入所
ｹｱﾌﾟﾗﾝ作成 居宅介護支援事業者名	

支払を希望する金融機関名	銀行　　支店 信用金庫 農協　　出張所	普通 当座	店　番	
			口座番号	
	口座名義人		フリガナ	

寝たきり高齢者等の日常生活状況

※日常生活動作	※

表１　日常生活動作の状況（寝たきり高齢者の方のみ該当事項にレを記入してください。）

事項	１　自分で可能	２　一部介助が必要	３　全介助	
歩行	☐ 杖等を使用し、かつ、時間がかかっても自分で歩ける	☐ 付添が手や肩を貸せば歩ける	☐ 歩行不可能（ねたきり）	※
排泄	☐ 自分で昼夜とも便所でできる ☐ 自分で昼は便所、夜は簡易便器を使ってできる	☐ 介助があれば簡易便器でできる ☐ 夜間はおむつを使用する	☐ 常時おむつを使用している	※
食事	☐ スプーン等を使用すれば自分で食事ができる	☐ スプーン等を使用し、一部介助すれば食事ができる	☐ 臥床のままで食べさせなければ食事ができない	※
入浴	☐ 自分で入浴でき、洗える	☐ 自分で入浴できるが、洗うときだけ介助を要する ☐ 浴槽の出入に介助を要する	☐ 自分でできないので全て介助しなければならない ☐ 特殊浴槽を利用している ☐ 清拭を行っている	※
着脱衣	☐ 自分で着脱できる	☐ 手を貸せば、着脱できる	☐ 自分でできないので全て介助しなければならない	※

※認知機能状態	※

表２　認知機能障害の状態（認知症高齢者等の方のみ該当事項の数字を○で囲んでください。）

（１）認知症の状態である　※

(ｱ)　記憶	1	自分の名前が分からない寸前のことも忘れる	2	最近の出来事がわからない	3	物忘れ、置き忘れが目立つ
(ｲ)　場所の理解	1	自分の部屋がわからない	2	時々自分の部屋がどこにあるのかわからない	3	異なった環境におかれると一時的にどこにいるのかわからなくなる

※

※問題行動	※

表３　問題行動（認知症高齢者等の方のみ該当事項の数字を○で囲んでください。）

事項	重度		中度		軽度		
ア 攻撃的行為	1	他人に暴力をふるう	2	乱暴なふるまいを行う	3	攻撃的な言動を吐く	※
イ 自傷行為	1	自殺を図る	2	自分の身体に傷つける	3	自分の衣服を裂く、破く	※
ウ 火の扱い	1	火を常にもてあそぶ	2	火の不始末が時々ある	3	火の不始末をすることがある	※
エ 徘徊	1	屋外をあてもなく歩きまわる	2	家中をあてもなく歩きまわる	3	ときどき部屋内でうろうろする	※
オ 不穏興奮	1	いつも興奮している	2	しばしば興奮し騒ぎたてる	3	ときには興奮し、騒ぎたてる	※
カ 不潔行為	1	糞尿をもてあそぶ	2	場所をかまわず放尿、排便をする	3	衣服等を汚す	※
キ 失禁	1	常に失禁する	2	時々失禁する	3	誘導すれば自分でトイレに行く	※

上記のとおりであることを確認できました

年　　月　　日

担当地区町内名又は居宅介護支援事業所名

民生委員氏名又は介護支援専門員氏名